

わんにゃん新聞

皆さん、こんにちは！！
春になるとミ・ダニの季節です。
また、4月になれば狂犬病予防接種が始まります。

ノミ・ダニの繁殖には、高温多湿の環境が適してるので、春から夏はノミ・ダニが繁殖しやすい季節です。しかし最近ではエアコンなどによって室内が比較的一定温度に保たれるため、室内でも油断はできません。注意するのは、散歩中の草むらだけではないということを知っておいて下さい。もう一度ノミ・ダニについておさらいしておきましょう。

ノミによる被害とは・・・

ノミは、犬・猫の体に寄生する代表的な外部寄生虫です。ノミが犬猫の体に寄生したり、唾液や死骸がアレルギー皮膚炎を引き起こす原因となります。

また、皮膚炎だけでなく、条虫や内部寄生虫などの病気を媒介します。

マダニによる被害とは・・・

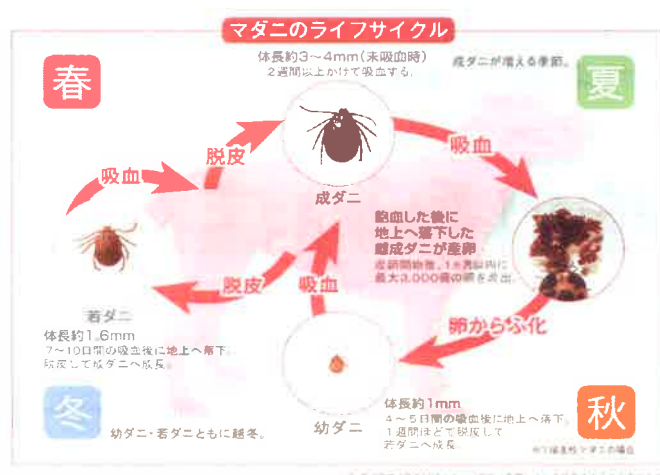
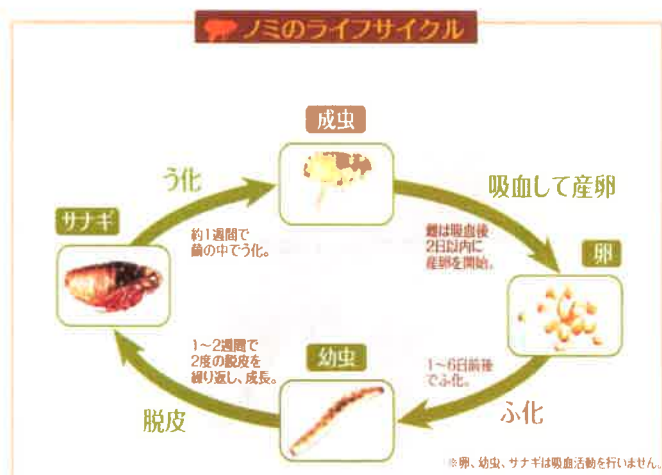
マダニは、草むらなどに潜み、動物に寄生して、血を吸います。吸血中は、口でがっちり皮膚を捕らえているので、無理に引きちぎると口の部分が皮膚に残って化膿してしまうこともあります。

体に寄生すると激しい痒みを伴いますが、さらに厄介なのは、マダニが「バベシア」という寄生虫(原虫)や細菌などを媒介することです。

特に、バベシア症候群は、犬の赤血球を破壊し、生命に危険を及ぼす危険性もあります。

ノミ・ダニのライフサイクル

ノミ・ダニは生息する場所や繁殖パターンが一部異なるので、増える場所や寄生する場所の違いも把握しておきましょう!!



SFTS(重症熱性血小板減少症候群)について・・・

2013年以降、日本でも死亡例が報告されている感染症です。マダニが原因ウイルスを媒介しており、引き続き注意が呼びかけられています。現在犬や猫での発症は報告されていませんが、動物たちの寄生虫予防に加え家族の皆さんからマダニを遠ざける為にも、しっかり予防をしていきましょう。

狂犬病予防注射

4月になると犬の登録が済んでいる場合は、市役所から狂犬病予防接種のハガキが届きますね。では何故、日本では発生していないのに毎年必要なのでしょうか・・・?? それは、とても恐ろしい病気だからです。

狂犬病とは・・・

イヌだけに限らず、**全ての哺乳類に感染**します。(全てなので、ヒトやネコもです!!)

感染した動物に咬まれると咬み傷からウイルスが体内に入ります。

感染を受けて1週間から1年と様々ですが、発症してしまうと約1週間程度でほぼ100%死んでしまいます。現在、効果的な治療法もなく、アメリカや中国などほとんどの国で、**毎年5万5千人以上の方が狂犬病で命を落としています。**

日本などごく一部の国では発生していませんが、交通機関発達により、日本にもいつ入ってくるのかわからないので、法律によって義務付けられています。

※狂犬病予防法によって、生後91日目以降で初回接種し、その後年1回の接種が義務付けられています。

●年一回の注射で安心●

集合注射の会場もありますが、**福津市・宗像市の動物病院でも同じ金額で注射・登録**することができます。

※登録は福津市・宗像市で飼われている犬に限ります。

ですので、動物病院にて狂犬病予防注射をすると、一緒に健康チェックも行えます。

動物病院で落ち着いて注射を受ける方が恐怖心をもちにくく、診察もゆっくり受けられるので、動物にとっても飼い主様にとっても良いとおもいますよ!!



西川動物病院



ホームページ:<http://www.on-vet.com>

住所:福岡県福津市若木台 1-21-10

Tel:0940-43-0200

詳しくはホームページ又は院内掲示板

Check!!

